

集古帖

子 10
1714

五十六番





松のこゝろ 千世よむとていけく花の
 向はきりしとていそはきふとあふに
 ありしよも木のこゝろよくちぬる
 たよむと木なよもをたむとて
 らむ折るまぢのせよとてあふ
 うみよのこゝろよもなむとてあふ

とわつちのあはれもあはれををくあふみ
をたふれくろしとなく、ふせうか
ゆく水のあはれはよふゆめを
かきあはれたさくちよひしあはれ
伊勢のうみのあはれさあはれさあはれ
いぬじとちあはれさあはれ

上西院集

こゝろを花ををみ地乃いん
心をあはれさあはれとあはれさあはれ
さあはれをなほしよふくたあはれ
さあはれさあはれさあはれさあはれ
あはれさあはれさあはれさあはれ
あはれさあはれさあはれさあはれ
あはれさあはれさあはれさあはれ
あはれさあはれさあはれさあはれ
あはれさあはれさあはれさあはれ
あはれさあはれさあはれさあはれ

たふさ

卯恒

年よあひのほねよまはせの君をま

またふえのこいひにぬ

心よとさく

あはるわとひとまをさくおつ

たのあはるはさくつ

くはたし

神代卷

かまふらぬからくはるむらた

はるのよるはなつら

まふりけ

はよるくまをあはる我を

たのふちをたれは

わく

神代卷

あはるかたのまはる

わく

まふり

神代卷

まはるは木のはたわ

まふり

三浦大官大貳

あふいもーちくろくろくたふやむたのいふ

くろくろくははくはか

たふーちーなまふくふふふみむる

あふふふふふふふふふふふふふふ

ふくふふふふふふふふふふふふふ

たふのははめふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ

たふのふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふ

大僧正親嚴

たふたふのふふふふふふふふふふ
野をのふふふふふふふふふふ

長右衛門政

飛騨

文家つて新勅様

新詠

一 是 内 林 表 仙 洞

寂 覽 子 物

波 一 所 移 及 河 感

不 斜 作 止 極 波 方

一 多 四 池 在 是 一 况

一 一 一 官 一 馨

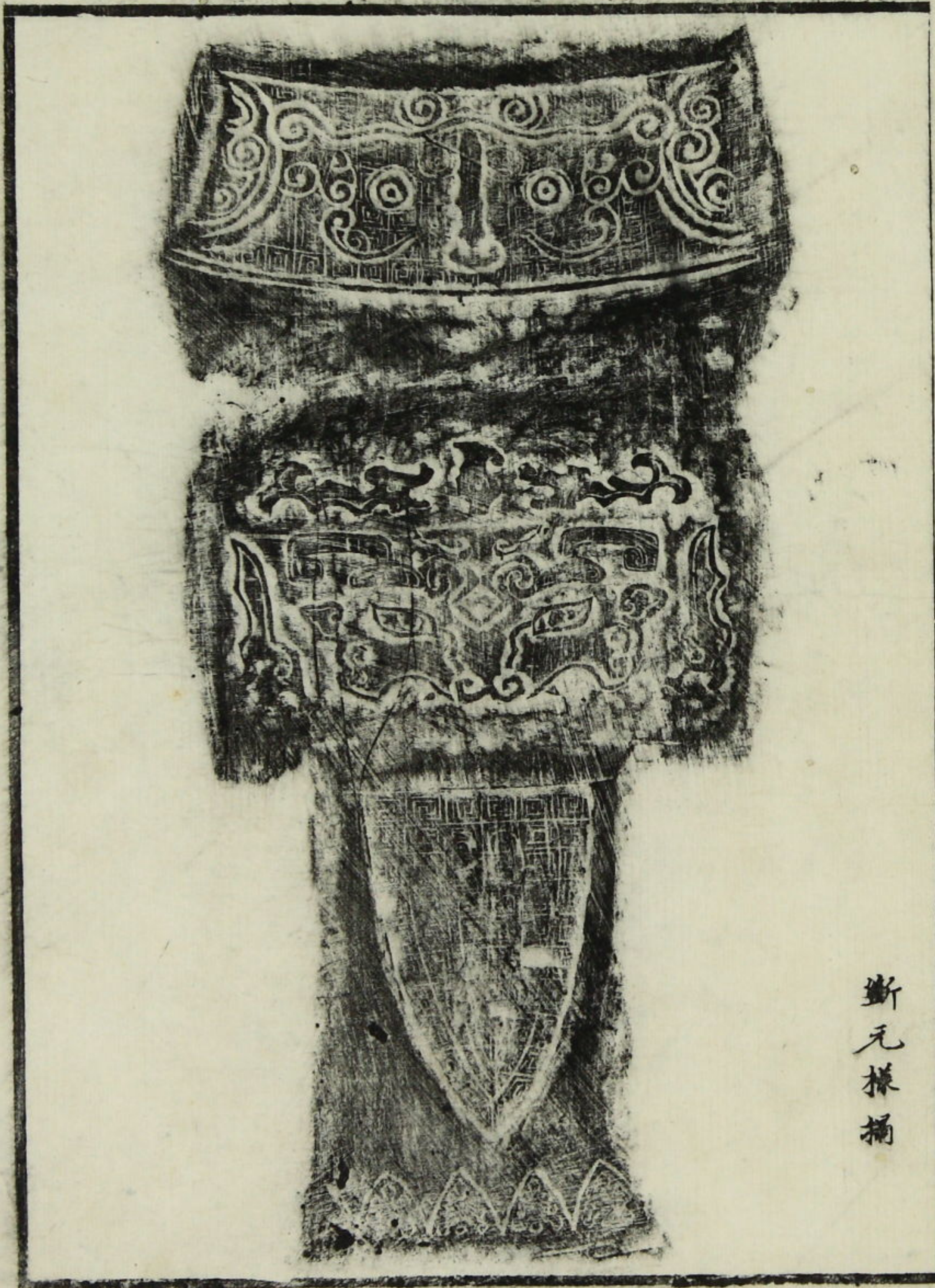
右 卷 内 中 之 稿

一 一 一 右 卷

先之新勅撰集卷之五
平令作他洞教略之
之令以事以之
御氣色錄卷之六
有之海以一方秘苑之
校系細圖之

宣和元年

志康



尚古圖錄

斷元樣桶



周雁侯壺

今在白醉卷
舊亦探幽物

減小樣製

正齋藏版

百獸壺

桂川氏
亥今永井盤谷藏



減小樣製

尚古圖錄

搨六面之一分



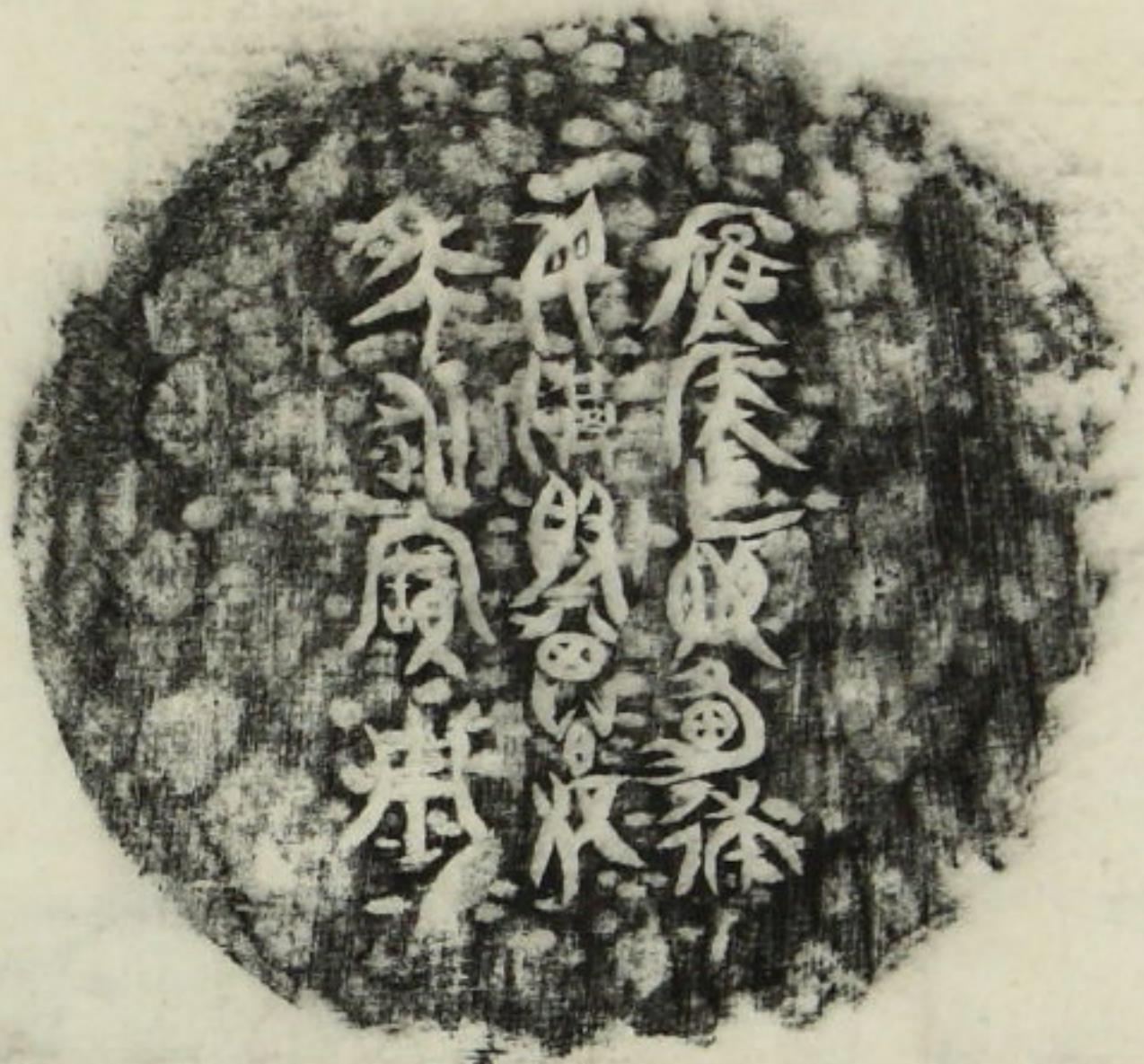
正齋藏版

右高一尺二寸五分。深一尺一寸四分。徑四寸。腹圍二尺六寸七分。重三百四十四斤。全身凝綠勻斑。獸耳有環。桂川國瑞誌曰。此文化甲子所獲。按博古圖西清古鑑。有漢雙鹿螭鹿壺。而無鑄人物



者唯周百獸豆。有人物禽獸龍蛇之象。與此壺甚相類。目姑名之曰百獸壺。其為周為秦漢。竦賞鑒家自品漆焉。守重諦視之。制度與漢鶴鹿壺大相似類。花紋與古鑑所載周雲螭壘。漢夔龍奩。亦相髣髴。所鑄人物似印度地方遊獵之象。其獸則犀豹螭鹿。其禽則蠻人。所謂其里必溫者也。蠻書云。其里必溫。產北荒。四足峻耳有翅。前半身如鵬。後半身似獅子。尾長。犖猛不可當。石川大浪云。此壺定是莫卧兒國之所製也。或然。





雁侯作姬違
母尊敦其萬
年永寶用

尚古圖錄

正齋藏版

右高八寸七分弱。深八寸五分。口径一寸八分。腹圍一尺四寸。底徑三寸一分。重四百七十九。制作醇古。銅色凝綠。花紋勻淨。筆劃如仰瓦。恐秦漢而下。無容作此。銘與博古圖錄所載周雁侯敦均合。
古玉面譜。又有雁侯玉敦。無銘。篆文奇古。義似不相屬。唯此器應為壺。
 而銘曰：尊敦。古物此類甚多。當別細論之。
周錫貝鼎銘。寶尊彝之類。
 圖錄曰：周室武王第四子曰雁侯。其後乃有雁姓。則雁者周武王之子。曰作姬。違母尊敦。於是又言違者。武王之姬。雁侯之母也。違與原同義。且同音。古之姓氏耳。故今斷以為姬周之遺物。





